

若者の「やりたい」を 育んでいく環境作り。

小学生～大学生までを若者と定義し、
若者からこの愛知・名古屋を盛り上げる。

翔び起て、教室の外へ。

若者の「やりたい」は、
どんなに小さくても挑戦する価値がある。

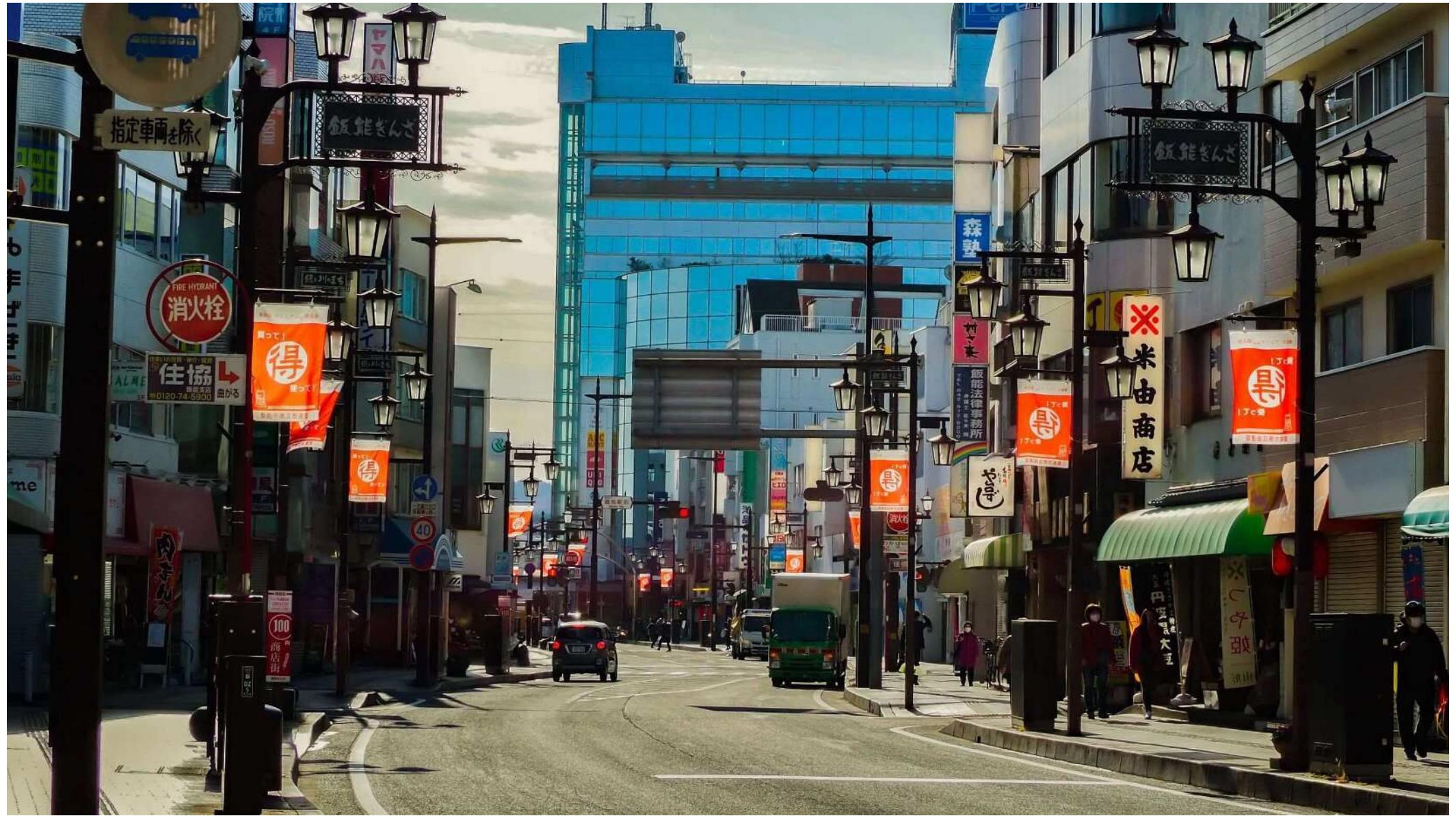
笑われるような無謀に見える一歩でも、
やってみれば次につながり、仲間と出会い、
やがて大きなイノベーションを生む。

「翔び起て」とは、
自分の芯から湧き上がる力で立ち上がり、
教室の外で社会に触れ挑戦すること。

その舞台は名古屋。

保守的といわれる地域だからこそ、
若者から新しい風を起こし、街をもっと魅力的に。

ナゴヤ若者応援プロジェクト

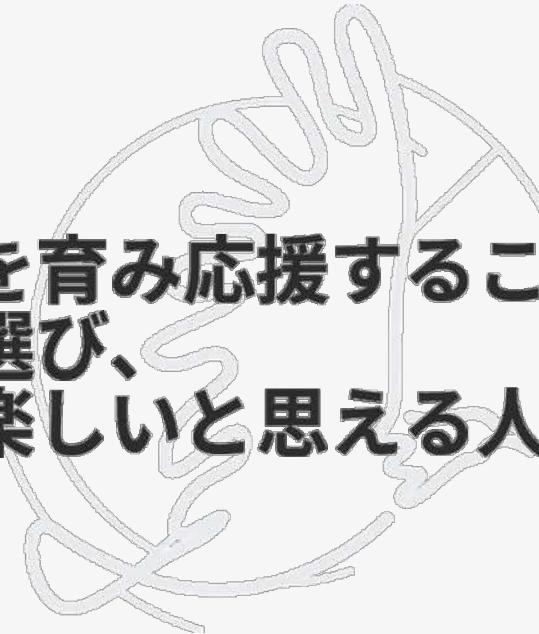




Vision

掲げる理念

学生の「やりたい」を育み応援することで、
自分の意思で未来を選び、
自信を持って日々を楽しいと思える人で溢れる社会を作る。



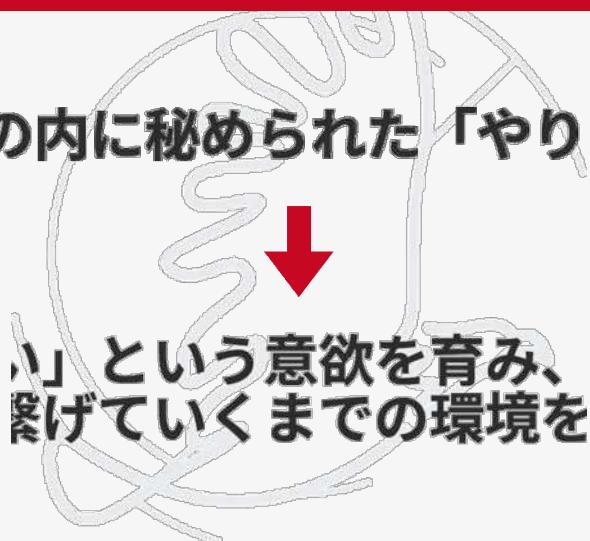


PROJECT

プロジェクト概要

ナゴヤ若者応援プロジェクト

名古屋に住む学生の中に秘められた「やりたい」を引き出す



「やりたい」という意欲を育み、
つなげていくまでの環境を

Why?

なぜ本団体が必要なのか

- ・キャリア観の固定化と、「やりたい」は「仕事」にできる
- ・「やりたい」をやるのは最強の自己分析



チームメンバーの原体験から：

高校生のうちから教室を飛び出し、社会に触れる体験によって視座が高まり、
今後のキャリアを考える上での良い材料になった。
また、そこで培った知識や経験は自分の大きな強みになりえる。
そんな体験を全ての高校生に。

Why?

なぜ本団体が必要なのか

- ・内発的な「問い合わせ」から考える
- ・実際の体験から学ぶ最強の自己分析

全く新しい キャリア教育



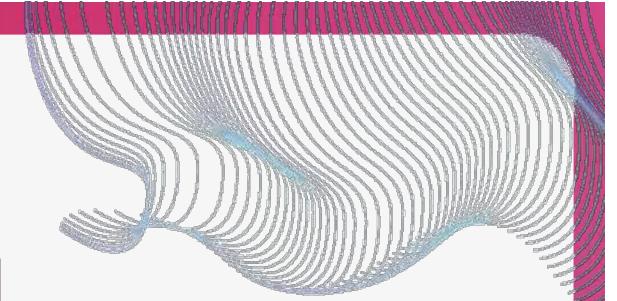
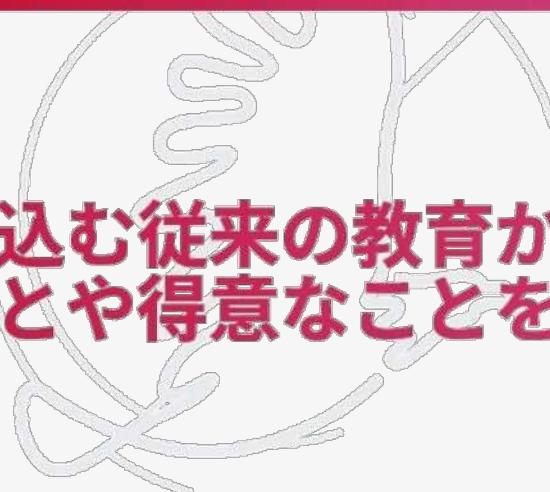
チームメンバーの原体験から、
高校生のうちに教室を飛び出で社会に出ての体験によって視座が高ま
今後のキャリアを考える上での良い材料になった。
また、そこで培った知識や経験は自分の大きな強みになりえる。
そんな体験を全ての高校生に。



経済産業省

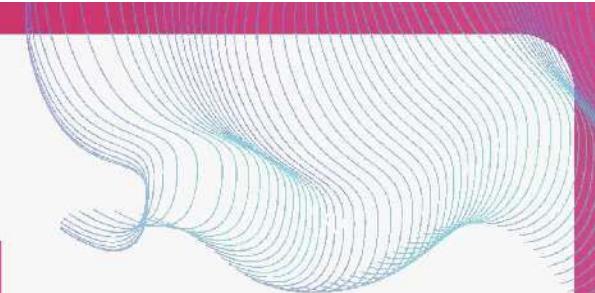
「未来人材ビジョン」

「画一的な知識を詰め込む従来の教育から脱却し、
子どもたちが好きなことや得意なことを追求できる教育への
転換を目指します。」



名古屋市

「総合計画2028」

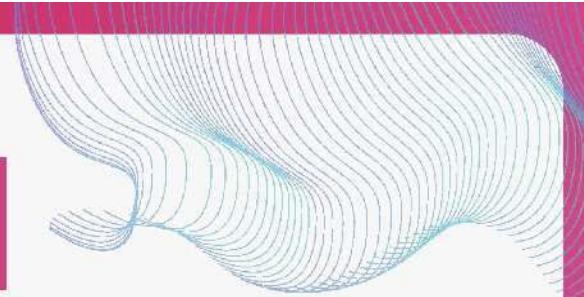


「こどもをど真ん中に据えた町づくり」

「若い世代の豊かな感性から生み出される発想力や行動力を活用するとともに、若者が自らの意思で社会参画できるような環境づくりを進めます。」

経済産業省

「未来人材ビジョン」



「画一的な知識を詰め込む従来の教育から脱却し、子どもたちが好きなことや得意なことを追求できる教育への転換を目指します。」

名古屋市

「総合計画2028」

「子どもをど真ん中に据えた町づくり」
「若い世代の豊かな感性から生み出される発想力や行動力を活用するとともに、若者が自らの意思で社会参画できるような環境づくりを進めます。」

Challenge

実施期間中の活動

ナゴプロ実施期間中の挑戦：スペシャリストにインタビュー



名古屋で産官学連携に力を入れている、株式会社カナメヤの松井 健斗さん。
5社でパラレルに人事の仕事を行っており、学生の支援もしている、只腰 耕平さん。
オープンイノベーション拠点OICXやその学生コミュニティのAIRPORT。

実際の学生を支援している、また学生が活躍している現場に足を運びました。

Challenge

実施期間中の活動

ナゴプロ実施期間中の挑戦：高校生にアンケート



高校の2年生360人にアンケートを実施しました。

アンケートの結果

Q. 金銭や時間を無視した際に些細なことでも何か「やりたい」ことがありますか？
に対して360人中300人がやりたいことがないと解答していました。

その他にも、「やりたい」に関するアンケートを行い、プロジェクトの構想に役立てました。

Challenge

実施期間中の活動

ナゴプロ実施期間中の挑戦：「ナゴヤ若者決起集会」の開催

名古屋の若者の「やりたい」を引き出す、ナゴヤ若者決起集会

when : 12/21

who : 「やりたい」がわからない名古屋の学生、わかる学生15人程度

what :

発想力とチームワークが求められるゲームを通して、自身の考える力と自信を育み、またその過程で新たな交友関係を築いてもらいつつ、視野を広げる。

得られた自信と繋がりから、次のステップへ導く。



Challenge

実施期間中の活動

ナゴプロ実施期間中の挑戦：オンラインコミュニティの形成



Challenge

実施期間後の活動

ナゴプロ実施期間後の挑戦：「若者応援プログラム」の開催

企業×

when：2026年夏ごろ

who：「やりたい」を心に持つ名古屋の学生15人程度

what：

企業の「やりたい」と、学生の「やりたい」をマッチングさせ、
イノベーション(=

若者の「やりたい」を 育んでいく環境作り。

小学生～大学生までを若者と定義し、
若者からこの愛知・名古屋を盛り上げる。

翔び起て、教室の外へ。

若者の「やりたい」は、
どんなに小さくても挑戦する価値がある。

笑われるような無謀に見える一歩でも、
やってみれば次につながり、仲間と出会い、
やがて大きなイノベーションを生む。

「翔び起て」とは、
自分の芯から湧き上がる力で立ち上がり、
教室の外で社会に触れ挑戦すること。

その舞台は名古屋。

保守的といわれる地域だからこそ、
若者から新しい風を起こし、街をもっと魅力的に。

ナゴヤ若者応援プロジェクト

若者の「やりたい」を 育んでいく環境作り。

小学生～大学生までを若者と定義し、
若者からこの愛知・名古屋を盛り上げる。

翔び起て、教室の外へ。

若者の「やりたい」は、
どんなに小さくても挑戦する価値がある。

笑われるような無謀に見える一歩でも、
やってみれば次につながり、仲間と出会い、
やがて大きなイノベーションを生む。

「翔び起て」とは、
自分の芯から湧き上がる力で立ち上がり、
教室の外で社会に触れ挑戦すること。

その舞台は名古屋。

保守的といわれる地域だからこそ、
若者から新しい風を起こし、街をもっと魅力的に。

ナゴヤ若者応援プロジェクト

PROGRESS

プロジェクト進捗

MANAGEMENT TEAM
BACKEND
PROJECT
PROGRESS

各種ミーティングとか学生万博下見とか...
イベント開催予定とかいろいろ

action2526登壇
ディスコードコミュニティの作成
12/21イベントの開催

PROJECT

プロジェクト概要

MANAGEMENT TEAM
BACKEND
PROJECT

ナゴプロ実施期間中の挑戦：「ナゴヤ若者決起集会」の開催

企業×

when : 12/21

who : 「やりたい」を心に持つ名古屋の学生15人程度

what :

企業の「やりたい」と、学生の「やりたい」をマッチングさせ、
イノベーション (=

←に述べた課題に追加して、
名古屋の課題や世界全体、日
本の課題などと絡める

キャリア観の固定化とか攻めたい

CHALLENGE

今後の課題・取り組むこと

MANAGEMENT TEAM
BACKEND
PROJECT
PROGRESS
CHALLENGE

今後の予定、目標とか

ぜひ名古屋市さんと事業としてやりたい



PROJECT

プロジェクト概要

MANAGEMENT TEAM
BACKEND
PROJECT

ナゴヤ若者応援プロジェクト

名古屋に住む学生の中に秘められた「やりたい」を引き出す



「やりたい」という意欲を育み、
実現へと繋げていくまでの環境を提供する



実現が成功した若者の姿を広めていく

BACKEND

きっかけ・背景

MANAGEMENT TEAM
BACKEND

生まれた課題「い」を育み、応援することで、
自信を持って日々を楽しいと思える人を増やしたいと思ったから。

**既にある環境を使えば1→10にするのは容易いが、
0→1を生み出すことが難しい。**



高校生のうちから教室を飛び出し、社会に触れることで視座が高まり、
今後のキャリアを考える上での良い材料になる。

また、そこで培った知識や経験は自分の大きな強みになりえる。そんな体験を全ての高校生に。

自分が知らないだけで高校生が社会で活躍することができるような環境はすでに整っているのでは？
そうなら、まだ見ぬ高校生にそのことを伝えてあげたい。知らせてあげたい。